

中間報告書

令和2年9月25日現在

1 事業名 「ええとこ穂井田」農都交流ネットワーク推進事業

2 実施期間 令和2年6月11日～令和3年3月10日

3 事業内容

① 事業の目的・概要

「市民農園づくり」を農都連携による農村地域活性化の方法として、穂井田地域と同様に耕作放棄地や農業後継者不足に悩む備中地域の農村部と連携・情報共有し、その方法の確立と農都交流のネットワークを構築し、移住定住を促進する仕組みづくりを確立することを目的とする。

- ・ 県民局が取り組んでいる「人・農地プランの実質化及び農地中間管理事業推進に係る推進モデル」との連携
- ・ 備中地域への移住定住の促進
- ・ 試験的市民農園（体験農園・レンタル農園）づくり
- ・ 体験農園でのワークショップの企画実施
- ・ 市民農園先進地域への視察と市民農園指定計画の作
- ・ 穂井田市民農園PRのための広報媒体の制作。既存HPへの広報ページの追加制作、チラシ等の製作を行い、倉敷市、岡山市などを中心に近隣地域へのPRを行う。
- ・ 持続化可能な地域にするための様々な施策に関するシンポジウムの開催

② 事業の流れ・進捗状況等

<実施したこと>

- ・ ホームページに市民農園のページを追加した
- ・ 「人・農地プラン」とはの勉強会
- ・ 「人・農地プラン」実施の基礎になるアンケート内容の検討、準備
- ・ 試験的市民農園（体験農園・レンタル農園）の圃場整備
- ・ 体験農園（種・苗植え付け体験）・レンタル農園の貸し出し
- ・ 体験農園参加者へのアンケート実施

<今後、実施すること>

- ・ 「人・農地プラン」実施の基礎となるアンケート実施(10月中旬から)
- ・ アンケート集計後に今後の方針について話し合い(12月から)
- ・ 体験農園（収穫体験）：11月15日（日）参加者へのアンケート
- ・ 体験農園参加者との交流、地域散策
- ・ 相談会への参加
- ・ 研修会の開催

③ これまでの成果・効果、今年度事業終了後の成果・効果の見込み

市民農園を開設したことで、地域の人にまちづくり協議会の活動に興味を持ってもらった。

玉島陶・服部地域を持続可能な地域にするための具体的な内容の話し合いの場ができた。

「人・農地プラン」を実施することで、10年先の玉島陶・服部地域の農地利用が把握でき、地域を存続させるためには、個人ではなく地域ぐるみで協力しあう、まちづくり協議会の重要性が増す。

④ 課題等

- ・新型コロナウイルス感染症がいつ収束するのか、この時期によって、三密をさけることを心掛けるため、大きなイベントができない。
- ・今のままでは先進地域の視察ができない。
- ・大きなイベントができないため、来年度事業計画の収入の部の金額が少なくなる。
- ・玉島陶・服部地域を持続可能な地域にするためには、利益を出し続ける経営体が必要になってくるが、いいアイデアが浮かばない。
- ・移住相談会等への参加ができないので、備中地域との連携が具体的になっていない。

4 参考事項・資料

収支精算書見込

交付申請時点からの変更

アンケート結果

ちらし